

第9回大阪ミモザカフェ：JSAの組織運営、AI活用、“スマホ脳”、個人情報管理

参加者4人（OB2人、現役2人）で5/25（日）午前11時から1時間ほどお話ししました。ミモザMLに定期大会（5/24）に参加した方から「ジェンダーだ、国際だと言いながら、とても偏狭で偏屈な組織だなと再確認しました」との投稿があり、JSAの組織や運営についてのあれやこれや、から話し始めました。オンラインの全国会議では参加者数が多く、どんな議論がされているのかの把握で精いっぱいだったり、進行のどこで発言して良いのかが分からなかったり、新参加者が発言しにくい雰囲気があります。手続きや文言にこだわる人がいて紛糾することがあったり、日ごろ聞かない言い回しが出てきたり、面食らうこともあります。オンラインゆえもあるのですが、全体像が分かりにくく、居心地の悪さがあるのは否めません。民主主義的に運営していくことにどう参画できるのか、課題は多そうです。

支部活動など含め、女性会員はその会員数に比して、担っている職務は多い印象を持っているとの意見もありました。支部の議事録づくりが大変というシニアにAIに任せてみてはという提案もあったそうですが、あまり受け入れられていないようです。今回のミモザカフェでもZoomのAIを利用して見たところ、生成された要約は「重要会議の議事録」のようで、気楽なおしゃべりとの「ギャップが可笑しい」との感想を参加者からいただきました。

AIがらみでは、AIに会話を吸い上げられるということなので個人情報は大丈夫か、議事録作成以外の活用用法（試験問題作成のアイデア出し、翻訳、文章チェックなど）などの話題もありました。また、『Newton 別冊』での“スマホ脳と運動脳”の特集記事から、脳科学で指摘されているスマホ脳、スマホ健忘症についての紹介があり、あれやこれやと話題が出ました。脳科学は行動心理学的な内容であることが多く、一概に脳の変化と結び付けることに懐疑的にみているとの意見もありました。学生だけでなく私たちも、目の前にいる人よりもスマホ（SNS）に表示された文字に反応することが生活基準になってきています。私たちの世代はスマホや携帯電話がない時代を経験していますが、デジタルネイティブの若者が今の環境を相対的に捉えることも訓練がいるだろうとのこと。人類の進化とメディアの発達、コミュニケーションの変化はいろいろと話題がありそうです。

また、情報管理という点では、最近の研究倫理申請でも個人情報の管理についての記載を求められますが、Web上に保管して限られた人しかアクセスできない、物理的にUSBのみで管理する、ネットワークにつながっていないパソコンでデータ処理するなど、何が正解なのか悩ましい事態です。情報管理についてのルールや申し合わせも、お互いにその理由を共有できていなければ、仲間の人間関係が損なわれてしまう可能性もあるかもしれません。

ミモザカフェは気楽なおしゃべりをベースとしながら、話し合うテーマを立ててやることの二本立てで行けたらと思います。